

## 冬期スクーリングを受講して

通信教育コース 吉見和

私は薬剤師として仕事をしております、患者さんに食事改善できることは聞かれることがよくあります。かねてより漢方に興味をもち、中医学の勉強をしたいと思っていたこともあり、薬膳を取り入れた食事内容の話をしてあげれば良いのではないかと考えていました。そんな時、インターネットで本草薬膳学院を知り、通信教育で学ぶことにしました。ところが、テキストを開けてみると、今までの知識と異なるところが多くあり、なかなか前に進むことができませんでした。このまま手を付けずに終わってしまうのではと、思いながら小テストも提出できずに、半年近くが過ぎました。

ある日、スクーリングのお知らせが届き、案内には「苦戦し一度もプリントを提出できなかった方が参加し飛躍的に理解が深まった」と書かれていました。開始当時はスクーリングは最後に参加するものと考えていたが、やり直せるきっかけになるのではと思い、今回参加を決意しました。スクーリングに参加してみると、とても有意義な内容で、中医学の考え方も深まりましたし、どこに焦点を当てて学んだら良いのかも理解

## 冬期スクーリング開催

(通信教育コース生 対象)

2012年1月26(木)~28日(土)

場所:本草薬膳学院 9F



できました。

また、スクーリングに参加されていた皆さんが薬膳の勉強を始めたきっかけや、習得後に薬膳を取り入れた仕事を目指しておられる話も聞け、本当に参考になりました。スクーリング後、再度自宅での学習を始めてみると、以前より要領よくテキストを読み進めることができました。

もし、通信教育をされている方で、勉強に行き詰まった方がおられましたら、一度スクーリングへの参加も検討されてはと思います。



## 「冬季スクーリングを終えて 初心に戻りました」

通信教育コース 岡本 操

鍼灸師になり、患者様と対峙し治療をしていく中で、何かが足りないと、漠然とした疑問を持ちながら仕事をしていた時、思い出した言葉がありました。「養生が一番先に有ってその後に鍼灸・湯液がある」いくら鍼灸治療を施しても養生をしていなければその効果はその時だけのものになる。その時、私の中で、昔からよく言われていた「人は口から食事がとれなければダメだ」と李東垣の「脾胃論」が結び付きました。

東洋医学を基本として治療をしているはずの鍼灸師が、その基本である食養生の重要性を少しでも患者様に伝えなければと思い薬膳の勉強を始めました。

冬季スクーリングは、東洋医学を学び、実践しているはずの私に初心を思い出させるいい機会となりました。人の体を総合的にみるのと同じように、治療も日々の生活を総合的に指導しなければ片手落ちになります。

スクーリングを終え、仕事に戻り、食養生の話をするにより、より患者様との関係を深くするものでした。

本当の健康・幸せとはなんだろうと考え、日々様々な病に苦しんでいる患者様に寄り添っていきたいと思います。

本草薬膳学院の諸先生方、これからもご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

2012年4月開講  
中医薬膳師コース  
学生募集中

## ■ 中医薬膳師(通学)コース

## 1. 平日コース(第1・3火曜日)

(2012年4月3日開講予定)

## 2. 土日コース(第2土・日曜日)

(2012年4月14日開講予定)

理論講義: 10:00~12:00

講義と調理実習: 13:00~16:00

(昼休み30分~1時間)

## 3. 夜間コース(隔週水曜日)

(2012年4月4日開講予定)

理論講義: 19:00~21:00

講義と調理実習: 19:00~21:30

・中医薬膳師(通信)コース  
・薬膳素材専門士講座  
(ネット)

も随時募集しております。

